

う話はしておりませんので、4年以内というのは市役所の庁舎の話をしたわけで。それは、民間のほうでそういうことを検討されていると、その際に支援があった場合は検討させていただくということを答弁したので。ですから、私が言ったことをきちっとご理解いただいてないというのは、非常に残念だなというふうに思います。

最後の件でございますが、確かに商工会議所のハードル高い、国の制度はハードルが高いというのは、そういうふうな見方もあるかもしれませんが。しかし、まず商工会議所は、その商工会議所の会員の方が大体商店街の方だと思うんですね。ですから、自分が会員になってる会に対して、やっぱりきちっと要請をしてほしいということと、なぜいろいろな研修を受けるとか条件をいろいろつけるかということ、健全経営をやはりしていただく、ですから無謀な計画じゃないか、きちんとした計画性のある事業なのかとか、収益の見込みはどうか、投資対効果はどうかということを多分おっしゃっているんだと思います、わからないですけど。ですから、そういった意味で商工会議所というのは、経営に対してもいろんな指導をするところなんです。

一方で、市役所は、残念ながら制度をつくって、議会からの要望があったり、あるいは会議所初め、そういう商店街の皆様の要望があって制度をつくるとしても、その運用は、残念ながら市の職員では経営わかりませんので、会議所とか銀行に窓口といいますかね、それをお願いするケースというのは多々あるんですよ。それをしない、いわゆるばらまきみたいなものを望んでおられるのか、その辺のところはどういうものなのか、やっぱり制度設計をしなきゃいけないと思います。

したがいまして、今後ともいろいろ折に触れご意見やら、あるいは声をお聞かせいただきました

と思います。

○**渋谷佐輔議長** 8番、今泉春江議員。

○**8番 今泉春江議員** 何か私、勘違いしたかと思います。失礼があればおわびをいたします。

まず、今の市長のご答弁でしたけども、今、会議所に入っていない方が結構いらっしゃるんですね、やっぱり入っていてもさまざま、経済的な事情が会費なんかも納めるのも大変だということで、やっぱりこのリニューアル制度というのは住宅リフォームの商店版ですので、ぜひしていただきたいなど、住宅リフォームは個人の住宅だけでなく、本当に商店というのはそこからまた経済効果も生まれるわけですから、ぜひご検討いただければと思います。

以上で私の質問終わります。ありがとうございました。(拍手)

### 渡部秀樹議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 次に、順位9番、議席番号7番、渡部秀樹議員。

○**7番 渡部秀樹議員** お疲れさまでございます。緑風会の渡部秀樹です。よろしく願いいたします。

それでは、通告に従い、一般質問をさせていただきます。質問は大きく2件、長井市街地西廻り幹線道路事業の早期着手についてと、観光交流人口の拡大について質問させていただきます。

また、一問一答にて質問させていただきますので、それぞれお答えいただきますようよろしくお願いいたします。

1件目は、平成30年度長井市重要事業要望書に記載があります、長井市街地西廻り幹線道路の早期着手について質問させていただきます。

長井市街地西廻り幹線道路、以降、略して西

廻り幹線道路と呼ばせていただきますが、西廻り幹線道路について、過去の資料をひもといていきますと、平成7年7月に置賜広域行政事務組合で作成いたしました、置賜地方拠点都市地域基本計画の中の地域内の交流を強化する道路整備が発端のようでありまして、その後、平成12年度、置賜開発重要事業要望書の置賜交流30分圏域を実現する道路ネットワークの整備促進の中に、米沢市－白鷹町間の規格の高い道路整備促進、そして米沢市－川西町間、長井市－白鷹町間の規格の高い道路整備促進との記載があり、ここで明確に米沢市から川西町、長井市を經由して白鷹町とつながる規格の高い道路のネットワークという言葉が使われ始めてるようであります。

また、同年であります、平成11年7月5日付で、置賜3市5町議会連絡協議会として要望されております、米沢市－白鷹町間の規格の高い道路の整備促進については、米沢市－白鷹町間を規格の高い道路整備促進が地域の交流、圏域交流強化のためにも必要な課題であると、重ねて早期整備の実施を要望しております。

その後も、米沢市－川西町間、長井市－白鷹町間の規格の高い道路の早期整備について要望が続けられ、昨年度であります、平成28年9月28日に長井市と白鷹町が連名で平成29年度長井市－白鷹町西廻り幹線道路に関する要望書が作成され、要望、陳情が行われてることは把握しております。

また、先日、衆議院議員、近藤洋介氏の呼びかけで西廻り幹線道路についての勉強会、参加させていただきました。それで、白鷹町の議員さんも来られましたので、白鷹町でも急激に機運は高まっていると感じております。

さらには、新たな栗子トンネルの完成により、年度内開通の予定ですか、東北中央自動車道の福島市－米沢市間の開通にめどが立ち、国土交通省からも米沢市－川西町間の規格の高い道路

に建設予算として14億8,500万円がつきまして、福島県から米沢市、そして川西町までの高速交通化がなされていく中で、西廻り幹線道路事業も早期着手することの重要性やメリットについての市長のお考えをお聞きいたします。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** お答えいたします。

早期着手することの重要性やメリットをどのように考えているかということでございますけれども、東北中央自動車道、福島市－米沢市間、これは距離が37キロメートルが平成29年度中に全線開通を予定してるということはご存じのとおりでございます。さらに、南陽市－高島町、山形市－上山市間、これはNEXCOでございますけれども、こちらの24キロの部分で翌年度、平成30年度に開通予定でございます。さらには、新潟山形南部連絡道路、梨郷道路については、用地の進捗率、買収が90%を超えまして、工事目に見える形で進捗しております。さらに、国道287号線は、長井南バイパスが昨年、平成28年の3月に供用開始をいたしまして、現在、米沢北インターチェンジ－川西町間で事業が進められております。

このように、長井市を取り巻く高速交通網は着実に縦軸、横軸の整備が進んでいるというふうに認識しております。

その中で、高速交通網のない長井市が、西置賜地域全体を含めた広域的な観点に立って道路網のあり方を検討するのは、それらの工事が完成してからでは遅く、進行中である現在において、重要課題として長井市の意思を示すべきときと考えているところです。

○**渋谷佐輔議長** 7番、渡部秀樹議員。

○**7番 渡部秀樹議員** ありがとうございます。

長井市の市長から、長井市の意思を示す上でもという言葉をいただきまして、安心いたしました。

さらに市長にお聞きいたしますが、白鷹町で

は7月に行われる地区長会ですかね、要望が上がるであろうということで、自治体としても急ぎ体制を強化、対応し強化せねばと水面下で動いているようであります。白鷹町とも協調しながらも、我が長井市はさらに上に行くスピードで取り組み、イニシアチブをとっていただきたいと思うんですが、市長はどのようにお考えでしょうか。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 早期着工を促すためにどのような取り組みを検討してるかということだと思いますが、道路建設には行政からの要望だけではなく、当然ながら地域住民の声も非常に大切な要素と言えます。

西廻り幹線道路については、既に長井市、白鷹町にそれぞれ整備促進期成同盟会がありますので、それらを1つにし、まずはルートを含めた道路網の検討や、その沿線に展開される施策の計画も重要になってきます。

さらに、この道路は当然、長井市、白鷹町だけを結ぶ幹線道路という考え方だけではなく、西置賜地域内30分構想や、県と山形市などの30分構想のもと、将来的には白鷹町だけではなく、小国町、飯豊町、そして南陽市、上山市、山形市も含めた広域的な構想の中で道路整備促進期成同盟会の設置を検討し、長井市のみ的重要要望事業にとどまらない形態をつくっていきたいと考えております。

近藤洋介先生のほうと現地を調査されたということですが、近藤洋介先生とは私、一回もこの件で話したことはございません。したがって、先生がどういうふうにご考えておられるのかわかりませんが、これは県の管轄の国道でございますけれども、あくまでもやっぱりまず調査費をつけてほしいということでの、先ほどの議員からのご指摘は知事宛ての、私のほうから呼びかけて、白鷹町長と期成同盟会、私どものほうも期成同盟会と商工会議所、商工会

等々でお願いに行った経過でございまして、そこで近藤洋介先生のお話って、私、全然聞いておりません。したがって、どういう形で近藤洋介先生が進めようとしておられるのか、先生がどんどんお進めいただければ大変ありがたいというふうに思いますので、難しい課題ですんで、ぜひ近藤先生に、渡部議員も一緒になって頑張ってもらいたいというふうに思います。

○**渋谷佐輔議長** 7番、渡部秀樹議員。

○**7番 渡部秀樹議員** ありがとうございます。

近藤洋介衆議院議員は、我々の勉強会のところでは、まず、長井市も白鷹町も地域で盛り上げてくださると、その中でできることをお手伝いさせていただきというような内容でありました。

市長から具体的なお話をいただきまして、まず広域的に連携を組んで、この西置賜の背骨になるであろう道路の建設になるわけですから、ぐいぐいと市長には機関車のように引っ張っていただきたいと願っております。

次の質問に移らせていただきます。

西廻り幹線道路の根本的な重要性について、産業、医療、市民生活、行政間と書いてありますけど自治体間ですね、連携などの幅広い分野でどのように考えていくのか、もしこれができると仮定した場合ですけれども、市長のお考えをお聞きしたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 西廻り幹線道路、そういう名称で今は読んでいるわけですが、国道287号の森、広野バイパスや主要地方道長井白鷹線のような、幹線でありながら生活兼用道路とは異なって、市やまちを最短で結ぶ信号のない高規格道路であるべきだと私は考えております。

今の森バイパス、広野バイパスあるわけですから、それでは物足りないということなわけなんで、やっぱり規格の高い道路でなきゃだめだろうと。残念ながら、長井南バイパスも長井部分

は規格高いんですけども、川西部分は信号がありますし、道路に面して住宅が建ってますし、かなり生活道路化してるなって感じしてますが、やっぱり私どもが目指す西廻り幹線道路は高規格道路であるべきだというふうに思います。

当然のことながら、沿線には産業団地等を配置して、物流の高速化を図ることが企業の振興、あるいは受注拡大、そして誘致をする上でも大切なことであり、また、公立置賜総合病院を軸とした広域医療の観点からも、サテライト病院から公立置賜総合病院、もしくは公立置賜総合病院から山形大学附属病院への救急搬送や災害時の救急輸送道路としても位置づけられるのではないかと思います。

また、4月にオープンしました川のみなと長井などが県外のお客様はどのくらいだったのかといいますと、オープン4日間の集計では、山形、庄内ナンバーを除く県外ナンバーの車は15%ぐらいでございましたが、大体、館内の店員のお話なんか聞きますと、7割、8割程度が市外のお客さんではないかと、やっぱり初めていらした方のような感じの方が大部分だということがありました。

そういった観光の面からも、東北中央自動車道路から西置賜に入るお客様を受け入れるための道路整備による高速化は重要であり、広域的な観光客の増加が見込まれると思います。

将来の人口減少は長井市周辺のまちでさらに顕著であり、各まち、各市というくくりではなく、西置賜全体の交通網として捉える必要があり、長井市がその中核をなすべきだというふうに考えております。

○**渋谷佐輔議長** 7番、渡部秀樹議員。

○**7番 渡部秀樹議員** 非常に力強い、中核をなすべきだという言葉いただきました。市やまちを結ぶ、最短ルートで結ぶというのは非常に有効的な道路であると、広野のバイパスでは満足できない、やっぱりそういう方がおると思いま

すし、逆に西廻り幹線道路つながることで、我々、米沢市、福島市だけでなく山形市方面に向かう時間も短縮できます。通うことのできる時間が短くなるということは、今の物流の広域化につながりますし、産業の広域化、ましてや工業団地のほう、ちょっと苦しい状況でありますけども、一つの起爆剤になるのではないかと期待しております。

市長からもよりよいお話いただきましたけども、長井の北部開発についてですけども、どうしても南に抜けるに当たって、ちょっとビハインドが大きいと、西廻り幹線道路が恐らく貴重なチャンスであると私は思いますし、市内の建設事業者の方たちにとっても、この道路建設というのは千載一遇のチャンスであると思います。

3月議会の一般質問で泡瀬戦略監がおっしゃっておいりました、議会、行政、市民、業界、この場合、建設業界ですかね、さまざまな業界ありますが、一丸となって取り組むことが地方創生のチャンスであるとおっしゃっておいりましたけども、まさにそういったチャンスではないかと思えます。

この件について、市長、一言だけお願いします。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 渡部議員のおっしゃるとおりだと思いますが、まずは、今のところ西置賜の、いわゆる長井市－白鷹町間には国の直轄国道はないわけですね。長井は今泉のところかすつるだけの梨郷道路、113号線は少し通ってますけども、そこしかないんですね。

したがいまして、県のいわゆる管理の国道でございまして、そういった意味では県の道路の中期計画が次期計画が31年からだというふうに聞いてます。そこにまずこの西廻り幹線道路の着手までいかなくても、計画道路としてまず上げさせることが第一です。

例えば、今、公共施設整備の話がございましたけれども、確かに北側は、以前から議会の皆様もおっしゃってるんですが、南のほうばかり民間の投資があつて、北は全然投資ないという議論、何回もありました。私、思うのは、それは白鷹町のほうから長井にいらっしゃってもらえなくなったから寂しいんでしょと、衰退してるんでしょと、長井の人たちもむしろ山形のほうに行くからですと。ですから、その部分を考えるには、交通の便が変わればまた変わってくる。したがって、議員おっしゃるとおりだと思うんです、私も。

しかし、例えば次期山形県の道路の中期計画に西廻り幹線道路、最初から事業道路、事業区間としてといいますか、事業化についていきなりいうことはあり得ませんので、まずは計画路線として認めていただいて、その調査費なりをつけていただくこと、その次のステップは今度、事業化ということで、最低でも30年見る必要があるだろうと。

長井南バイパス、平成28年3月に開通しましたけども、着工したのは平成七、八年ですから、20年かかっているわけですよ、たった七、八キロで。それではだめだということで、今、高速道路につながる道路として米沢北バイパス、287号線、それから川西バイパスなどもその恩恵にあずかって予算がどんどんついておりますが、それでも10年はかかると言われております。

したがって、私どもが言ってる西廻り幹線道路というのは、やっぱりある程度、長期のスパンで考えざるを得ないというふうに思っておりますので、その場合に公共施設整備は私ども、ここ10年である程度考えていく内容でございますので、そこは分離して考えざるを得ないんじゃないかなというふうに思います。

先ほどお話ありましたように、西廻り幹線道路として整備すべきは、高規格道路でないという意味がないと思っております。そうしますと、平

面的に隣接地から自由に出入りできる道路、長井南バイパスの川西の部分が出来てしまってますけども、そういう形になりましたら、もう普通の県道、国道と同じになるわけですね。それでは私どもの考えている最短で白鷹町とかあるいは山形と結ぶとなりませんので、非常に高いハードルでございますけれども、それを努力しなきゃいけないと。

そういったことから、中心市街地の移設という考えは、もうこれから人口が20年、30年で間違いなく3割、4割、人口減る中で郊外にまちを移すなんていうことは自殺行為であるというふうに私は思います。

現在策定中のマスタープランの全体構想でも示させていただいておりますが、そういった考えはですね、現在計画中の公共施設については、中心市街地に建設していく予定でおります。ただ、西廻り幹線道路とのアクセス道路については、コンパクトシティ化された交通ネットワークの中にインターチェンジを設ける必要があるというふうに思います。

長井市が行うべき都市機能誘導地域は、西置賜地域の都市としての誘導施設であり、例を挙げれば子育て支援施設、公共複合施設ですね、あるいは多機能型図書館があるわけで、現在、山形市や天童市で、そこまで行かないと子育て世代の人たちがなかなか満足して土日を過ごせないというようなことの話もございますので、それをぜひ私ども長井で、西置賜のみならず、もっと広い範囲から遊びに来てもらえるような、そんな道路にもなるべきだと思っております。以上です。

○**渋谷佐輔議長** 7番、渡部秀樹議員。

○**7番 渡部秀樹議員** 次の質問に、ほとんどお答えいただきましてありがとうございます。

一応、お答えいただきましたけども、西廻り幹線道路は恐らく時間がかかるだろうという市長の読みであったと思います。ただ、できます

れば、平成30年度ぐらいには県のほうからこういう方向でという言葉がいただけると、長井市としてはかなり未来が見えるのではないかなと思っておりました。

まず、あくまで仮定なんですけども、西廻り幹線道路の完成がもし早い場合、市庁舎の予定とする建設予定の場所も、それとインターチェンジの話もありましたが、呼応して連動できるような建設も、もし早くできるようであれば考えてもいいと思いますし。

もちろん、長井の駅前付近や本町エリアにPFIなどの方法で複合ビルとして建設することも正解だと思います。市長は都市機能を移すということは、今のところは考えてないということでしたが、現在発展著しい館町南エリアですね、中心エリアというのは常に動いているというのがまちの中であると思うんですけども。昔は大町、高野町エリア、その昔は東町もかなり歓楽街として発展したまちでしたよね。本町に来て、駅前通りも発展して、徐々に南に延びて、今現在、そういう状況になっていると。道路というものがまちを変えていくこともありますし、あいてる土地、あいてる土地を求めて人が産業で伸びていくというまちが特徴だと思うんですけども、仮にですが、館町南エリアを長井南市街地と考えまして、西廻り幹線道路が建設されるであろうエリアの、まだ都市化されていない地点に新庁舎の建設、そして現在、本町を中心とする従来の中心地を長井中央市街地と捉え、市民の生活に直接かかわる課を集めました総合窓口を設けた分庁舎を建設することも、西廻り幹線道路が近々でよくなれば考えてもよろしいんじゃないかと、私は思います。

常に、行政といえば、そのときの必要性や未来の可能性より、まちを変化させることで存続してきたという歴史があると思うんですけども、一度はできないと言われましたが、市長にもう一度この考えをお聞きしたいと思います。

○渋谷佐輔議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 もう一度整理しておきますが、西廻り幹線道路はかなり難しいという認識です。29年度に県のほうで、知事のご厚意もありまして、白鷹町に現在、調査費とついでる部分を長井市の部分に広げて検討してみたらどうだというふうに事務方に指示されておりました。その部分が数百万円でございます。したがって、やっとテーブルに着いたというだけで、実質的な審議は全く残念ながら今年度は難しいだろうと。

したがって、もし仮に30年度に本格的な予算をつけていただいたとしても、規格の高い道路でないという意味がないと。なぜかという、それは今回、長井で3地区、平野、西根、致芳の皆さんで期成同盟会つくっていただいています。これはその方たちのためにも、地区に少なくとも、平面の国道であっても道路できることは悪いことではありません、これは長井市としてもいいことです。しかし、それで問題を解決できるというものではないと、やはり長井市で本来望むべきものは規格の高い道路であり、長井から山形までどのぐらい短い時間で行けるかでございます。

残念ながら、米沢北のインターチェンジまでは、私は諦めています。もう川西ではあのとおりですから、長井南バイパスで梨郷道路と病院の前で接合しますから、長井の皆さんはそこから、梨郷道路から赤湯バイパスを通過して東北自動車道路に入るのが一番最短だというふうに考えざるを得ません。あと、その後の川西バイパス、川西町－米沢市バイパス、米沢北バイパス、3カ所一緒に工事とか調査費とかついて始まりますけども、ルートを見て唖然とします、何だ、これはと。もうやっぱりそれぞれの地域の要望がありますから、そのメリットあるような形で道路がきられてますんで、私どもから見れば、米沢市－長井市－白鷹町間30分で結ぶなんて、

とてもとてもそうはなっていないと、現実には。

したがって、中心市街地から市役所を外れますと、中心市街地活性化基本計画は取り消しになります、間違いなく。そうしますと、公共複合施設も残念ながら採択してもらえません。それぐらい計画的な事業として進めていますから、郊外に市役所を建てるとするのは、今の時代、自分たち単独でね、国とか市、村、仰がずに、自分たちで独自でまちづくりを進めるんだっただいいんでしょうけども、郊外に市役所建てるとするのは、コンパクトシティ化、人口が3割、4割減る中で、これはもう自殺行為だというふうに思っています。

あと、例えば館町北、館町南ですね、確かに今、量販店とか出てますが、あれまちじゃないんですよ、商業エリアです。ですから、私もがずっと言ってる中心市街地って何かというと、やっぱり歴史があって、それは歴史もたかだか100年かもしれないけれども、十日町とかああいうあら町というのは何百年もの歴史があるわけですよ。それらが残ってきたというのは、都市機能がやっぱりお金をかければかけるほど、そこはよくなるんです。ところが、商業エリアというのは、道路の状況とか何かが変われば、すぐ拠点が変わるわけで、そこに公共施設を持ってくるとするのは、相当そこに投資するという前提じゃないと、これは難しいと。

したがって、都市計画的にいったら、渡部議員おっしゃるのは、残念ながらかなり難しい考え方じゃないのかなというふうに思います。

○**渋谷佐輔議長** 7番、渡部秀樹議員。

○**7番 渡部秀樹議員** 市長から詳しいお話、ありがとうございました。

やはり高規格道路というのは、私も重要なポイントだと思っております。確かに高規格道路をすぐつくってくださいと言って動くような状況でないと、私も存じておりますけども、市長には端々において、少しでも早く県のほうにこ

こが通じるように動いていただきたいなと思っております。西廻り幹線道路が早期着工すればという、あくまでも仮定のお話でした。ただし、仮定に近づくように、市長には頑張ってもらっていただきたいと思っております。

続きまして、2件目の観光交流人口の拡大について質問させていただきます。

お手元の資料が配付してあります関係上、通告書の(3)番、(4)番、そして、続きまして(1)番、(2)番の順に質問させていただきます。

それでは、やまがた長井観光局が設立し、道の駅川のみなと長井が創業した本市の観光交流人口の拡大の方策についてと、現状、今後の目標の確認、そして提案をさせていただきたいと思えます。

(3)の市内登山道の整備状況について市長にお伺いいたします。

観光やレジャー、そして登山道を売り込むためには、登山ルート、登山道標柱、ルート地図、インターネット上のウェブ情報、地域での認知度、受け入れ態勢などを整備する必要があると思えますので、現状を教えてください。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 長井市の山岳観光を考える上での貴重な状況把握ということだと思いますが、現状、朝日連峰はほとんど手がついてないということで、観光としての活用はゼロと言わざるを得ないと思えます。登山愛好家がよく登っておられますが、ロープウエーやリフトなどが整備されておらず、観光気分で登山できる山ではないということのようでございます。月山や蔵王と違い、飯豊連峰と朝日連峰は、それなりのしっかりとした知識と体力がある人でないと登山はお勧めできる状況にはないという現状だと思います。

○**渋谷佐輔議長** 7番、渡部秀樹議員。

○**7番 渡部秀樹議員** 厳しい状況であると市長

からの説明でした。

インターネット上の情報では、葉山の情報ですとか、長井市のほうでもお出ししていただいているという状況ではあるなと思います。

お答えもらえませんでしたけども、市内の受け入れ態勢の準備、旅館さんとか考慮なんかもされているのかなという期待はしてたんですけども、まず現状としては、私も急峻な山であるなとわかっております。アプローチも長く、そうですね、駐車場と言えるものも結構苦しい場所にありますし、メインとなる大きな山が手前の葉山の裏のほうですからね、葉山に関しても駐車場やシャワー等の施設とかは苦しい状況だなと把握しております。

登山道というのは、登山道に限りませんが、観光客に使っていただけるものというのは物理的なものに限らないと、情報や受け入れ態勢の整備というのが、地元の旅館さんにちょっとポスター掲示してみたりとか、情報発信してみたりですとか、確かにマニアの方がすごく喜んで登っていただけるタイプの山を長井市は持っていますので、そういったマニアの方を呼び込むような手だても必要になってくるんじゃないかなと思っております。さまざま手間がかかりますので、根気強く市長のほうの、幾ばくかの観光客は来るので、かつレベルの高い方が来ていただける可能性がありますので、根気強くよろしくお願ひしたいと思います。

ここで、ルート図の整備について、少し提案させていただきます。登山やトレッキングマップの整備についてですが、配付してあります資料①をごらんください。

この資料①、上の図と下の図がございます。これ、昔に私がお手伝いしたトレッキングマップなんですけども、上の図のような正確なルート図も必要だと思うんですけども、町歩きでもそうじゃないですか、正確なルートというの必要だと思うんですけども、下の図のような、

何となく楽しいな雰囲気地図をつくることも観光資源を生かすためには必要だと思いますので、このようなマップづくり、ルート図づくりをご提案したいと思います。

このようにイラストがあると親しみやすく、何となく行ってみたくなるような図面に仕上がってきます。もちろん、標高差があれば標高差は載せなきゃならないんですけども、たまたまこの場所は標高差が150メートル程度というところで、標高のほうはあえて載せていないという図面であります。

市長、このようなマップ等の作成をどう思われますか。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** ちょっとお尋ねしたいんですけども、今は2の観光交流人口の拡大の(3)についての質問じゃないんですか。(2)ですか、どこなんですか。ちょっとよくわからないんですが。

それで、再質問されてますけども、何をおっしゃるかということも全然示してなくて、ぶっつけでおっしゃって、私、何のことかよくわからなくて。

例えば、先ほどの質問は現状はどうですかということじゃなくて、詳しくね、観光やレジャーとしての登山道を売り込むためにはどうのこうのって全部言っていただくとわかるんですが、どこまで、ちょっと準備した資料あるんですが、どこまでお答えしたらいいかよくわからないし。

あと、今、おっしゃったのは、この図面についてですよね、どう感じますかということですか。

これは、これぐらいだったら、感想どうだと言われれば、それぐらいはお答えできますが、やっぱり難しい山だというのはね、それは私どもから見ても蔵王とか月山とは違うと。吾妻だとかよっぽどいいんですけども、朝日連峰と飯豊はかなり難しいし、私も登山よくわからないん

で。

ただ、やはり魅力ある山であることは確かですので、こういった形で、例えばトレッキングマップということで、聞くところによりますと、渡部議員は数少ないそういったいろんな有資格を持っている登山の……。

(「ガイド」の声あり)

○内谷重治市長 あ、ガイドの資格を持っておられる、長井市でも数少ないお一人であるというふうにお聞きしていますので、ぜひそういった意味では、こういったガイドマップをつくって、広く。今はブームというよりも愛好家が非常にふえていますので、そういった方にお越しいただくというためにはこういったことも、やっぱり専門家の、渡部議員とか、あるいは八木さんですか、ああいう方々のご協力を得ながら、それから、岳人長井や長井山岳会などともちょっとお話し合いなどもさせていただきながら、ご協力いただいて山岳観光について、私ども基本的にはほとんどないものですから、そういったものを構築していくということは非常に重要だというふうに思います。

○渋谷佐輔議長 渡部議員、わかりやすく。

7番、渡部秀樹議員。

○7番 渡部秀樹議員 わかりにくくて、まことに申しわけありませんでした。さらっと聞きたかっただけだったので悩ませるつもりはございませんでした、まことに申しわけありません。

まずこの山岳観光って難しいんですけども、奥の山に行かないで、もうちょっと近いところの、昔の使いました林道ですとか、林野関係の作業道というの、もうほぼ廃棄した状態で、下刈りだけして残ってるの結構あるんですね。ちょうどこの図面にあります、上でも下でも同じ場所なんですけども、秋田と長井をつないでいる昔の街道、今で言えば県道だったところですね、もちろん徒歩の時代のものです。それと、今の林野庁のほうで昔整備した索道ですとか、

それを結んだものを昔、行政のほうでお借りして使わせていただいていたものです。

こういった使えるような資源というのは、探すところからそんなに遠くないところ、不便でないところ、かつ高低差も少なく楽しめるようなところにある場合があるんですね。長井市内詳しい方ね、この議場内にも複数おられますので、観光客に売り出すのは何も急峻な危険な山だけではなくて、身近な里山でもいいと思いますし、昔、開拓があった場所をちょっと訪ねてみるというふうな簡単なルート、それもこのようなマップで、ちょっと絵心のある方が描き上げると、パッケージがされていくんじゃないかなと、若干、標柱ですとか簡易トイレが欲しいかなですとか、あるかもしれませんし、年に1回ぐらいは下刈りしなきゃいけないなということはあるかもしれませんが、宝が眠っているというのが、この地域にあると思うんですね。ぜひそれを発見して整備していただきたいと。

ただ、このお持ちしたマップのエリアは、宮城県の栗原市なんですけど、岩手・宮城内陸地震で現在、使えなくなっています。この後、丸々閉鎖になっております。もやはこのマップを持ち歩く人もいないのが現状であります。まことに惜しいことでもありますけども、余談でありました。予算もあることなので、さまざまご検討いただきたいと思います。

次の質問に移らせていただきたいと思います。

(4)の観光交流のへそと位置づけている道の駅川のみなと長井の施設の現状への指摘と、にぎわいづくりの提案させてください。配付してあります資料2の①をごらんください。

近隣の長井小学校ですね、長井小学校からめぐみ幼稚園の学童クラブの移動のとき、道の駅の敷地内を通る形なんですけども、学童の歩く姿が大型バスや大型トラックの陰に隠れて、道の駅本体からも周囲からも死角になると犯罪の引き金になるのではないかと。また、駐車場内

に設置された禁煙コーナーについても同様で心配だということが、めぐみ幼稚園の学童クラブに子供を預けているお母様方から指摘ありまして、先日見させていただきました。私の子供は、乳児部と満3歳児と学童クラブと3人通わせて預けてるんですけども、事件や事故は未然に防げる場合もあると思いますので、時間的に誘導員を配置するなどして、検討はできないかなと思ひ、市長にご提案であります。市長、どうお考えでしょうか。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** お答えいたします。

道の駐駐車場南側の歩道については、児童の安全を考えた上で、車両通行等、隔離できる場所を選定したつもりだったんですね。以前はあそこら辺が全部空きビルとか、非常に死角の多い危険な場所だということで、めぐみ幼稚園さんの隣接したこの観光交流センターの計画でございましたんで、そこでの反対が非常に大きかったと思っております。

そういった意味では、十分配慮してしたつもりですが、やはりこれは心配は限りなくあるもので、めぐみ幼稚園の保護者の方がそうおっしゃってるということでございますんで、これは重く受けとめなきゃいけないと思っております。

ただ、喫煙所がなぜ危ないのかちょっとわからないんですけども、非常に目立つところで、何してるかみんな回りから全部見えるので、なぜ危ないのかというのはちょっと私は理解できません。

ただ、隣の日産と大型トラックがとめる駐車場、大型バスとめる駐車場、そここのところを学童の皆さんが通れるような歩道をつくったつもりですが、それがかえってよくないみたいですので。だとしたら、どういうふうなルートにすべきか、もう一度めぐみ幼稚園の理事長さん初め、園の関係者の皆さんと相談して考えていきたいというふうに思いますが。一つのルート

としては、観光交流センターの裏側を通過して、何ていうんでしょうか、ふらりのほうから入っていただくルートは、最初はそちらで想定したところだったんですけども、最終的には南側の、ずっと遠回りになるみたいな格好なんですけど、そちらで考えたところでした。

なお、今回、ちょっと間に合わなかったんですけど、商工観光課とか総務課などと検討しまして、やはり人がいっぱい集まる場所なので防犯カメラをしっかりとしたものをつけようと、長井警察署のほうからも、4月になってからですけども、提案いただいております。ただ、今までは1基100万円程度ぐらいの防犯カメラだったんですよ。それを、全部、車のナンバーとか顔も認識できるようなということで、五、六百万円ぐらいのものをつけてほしいと、そうすると全部見えると、相当な犯罪防止力になるだろう、抑止力になるだろうということで、ちょっと今回、6月補正には間に合わなかったんですけど、ぜひ9月には上程させていただいて、やっぱり何かあるかわかりませんので、そういったことで犯罪が未然に防げるような、そういう抑止力になるようなことも考えつつ、もう一度ルートを、幼稚園ともお話ししながら検討してまいりたいと思ひます。

○**渋谷佐輔議長** 7番、渡部秀樹議員。

○**7番 渡部秀樹議員** ありがとうございます。

私もあのルートはいいなと思ってたんです。ただ、上空からの平面ですか、見る感覚と立面とやっぱ違う感覚だと思ってたわけですよ。私もあの位置がベストだなと思って見てはいました。

たばこの所がなぜ危険かって、お母さん方から言われたのが、今、連れ込みの犯罪が、口を塞いで施設に連れ込むって、腰の高さまでは隠れる施設なので、そういう心配があると、大丈夫だろうと言えば大丈夫だと思ひんですけども、そういうお声があったとお伝えしときます。も

ちろんカメラがあるととても助かります。どうしても死角って気をつけなきゃいけないところと思ってますので、どうしても建築の準備、建設してるとき気がつかないことも、実際建つてくると、運営始まると見えてくるものいっぱいあると思いますので、少しずつ市長から改善、上げていただくと大変助かります。

続きまして、配付しております資料の2枚目をごらんください。

たまたまバスのほうを見に行つたときなんですけども、大雨の合間にちょっと晴れ間ですね、道の駅に立ち寄つたときに撮影したものです。地場産品コーナーの、直売コーナーの外側の西側ですか、外部の西側、この下のところ、融雪か何かの舗装になってるところだと思うんですけども、ちょっとここ一角だけが逆向きになってるというか、少し高くなってまして、水がなかなか逃げないなというところがあったんですね。せっかくきれいに建てた建物ですので、早目に補修できればなと思ひ話させていただきました。市長、どう考えますか。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 渡部議員のおっしゃるように、こここの部分が施設の正面から見て右側のお手洗いに行く、あと直売所に行く側の入り口のところなんですけど、あそこに花屋さんのまず花卉類があります。あと、多分、市内の花卉栽培の方などもあそこに置いてられると思います。なぜ水があるかという、水をかけられるんですね、その水がここにたまる。ここ1%勾配にしてるんです、1%。なぜかという、もう完全にバリアフリーで、ちょっとした段差でもお年寄りがつまずいて転んでしまうといけないということで、非常に緩い勾配にしてまして、これはいづれなくなります。ただ、時間が非常にかかるということで、これから管理上、やっぱり1%はそうなんです、笑われますけど。ええ、それを例えば3%とか5%勾配にすればなくな

りますよ、そのかわりつまずいちゃうんですよ。多分、議員の中にもここよくご存じの方もいらっしゃると思うんですけども、ここはやっぱり掃いて、店員にほうきで、水をまいた後、水をまいた人に掃いてもらうようにすればいいんですけども、排水溝のほうに要はほうきで掃いていただいてするように、まずは指示したいと思います。

それでもちょっと常時水が、雨なんか降るとたまるということであれば、少し水を切るなり、ちょっと勾配はこれ以上、もう一回工事をし直すということは厳しいので、その辺のところは今後状況を見て検討したいと思います、ご指摘のとおり、確かにここは水がたまるので、水をかけてくださってる花卉生産者、あるいは花屋さんのほうにお願いしてまいりたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 7番、渡部秀樹議員。

○**7番 渡部秀樹議員** 要するに1%勾配だとほぼ平らなどで、戻ることもありますね。言われてみればそのとおりだと思います。ぜひお声がけしていただいて、排水溝のほうに掃いてくださいと言声かけていただければと思います。転んでけがなんかされたらね、かわいそうですね。よろしくお願ひいたします。

次の質問に移らせていただきます。配付しております資料の③をごらんください。

この長井の道の駅の建物は大変スタイリッシュで都会的だと思うんですが、撮つた時間が悪かったのか、少し寂しげな雰囲気があると感じております。

道の駅は、日常の販売施設ではなく、非日常の施設といいますか販売施設、交流施設であると思います。にぎわいがあるべき施設だと思いますので、にぎわいの演出や活気ある雰囲気づくりも必要だと感じましたので、提案をさせていただきます。

繰り返しますが、スーパーマーケットや一般

の商店というのは、生活の中の日常の施設、道の駅というのは、非日常の施設、つまりケとハレの関係があります。道の駅のほうは非日常的なハレの施設ですね、ハレというのはお祭り等の祭日等を意味していますので、道の駅は常ににぎやかな、楽しげな雰囲気を観光客、利用者提供していくことが必要だと思うんですね。

そこで提案なんですけれども、道の駅の南側ですね、正面ですね、オープンするときテントが大変建ってにぎやかでしたよね。私もすごくにぎやかで、楽しい施設だなと思って見させていただきました。やはりこの外売りがありますと、テント配置してますと元気がよくお客様をもてなす雰囲気づくりになっていくと思うんですね。もちろん連日は難しいと思います。大型連休や土日、祭日は頑張りたいものだと思うんですけども。もちろん、外部の方に限らず中のスタッフ、ちょっとエプロン変更するなりして、はっぴ着るなどして、声がけで何か売りたい、その時期の目玉商品じゃないですけども、そういったものをちょっとテント1棟建てて頑張ってる姿も活気づくと思うんですけども、市長、いかがお考えですか。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** お答えいたします。

開店してちょうど2カ月ぐらいのところ、大分、店員もなれてきたと思いますし、どちらかという今まで物産館とか、あるいは菜なポートは主に市民の方とか、物産館はホテルのお客様もいらっしゃいましたけども、そういった意味ではあくまでも店舗中心に考えればよかったんですけども、今度は観光交流センターといういろんな機能を持ち、長井の観光交流のへそだということから考えますと、何でしょうかね、さまざまなお祭りとか行事、例えばゴールデンウィークとかお盆ですとか、あとはこの間の黒獅子とか、これからの水まつり、長井おどりとか、いろいろあるわけですけども、その時々

まずちょっとした催事、催し物やったらどうだと。さっきのたばこの喫煙所がありますけども、その南側といいますか東側のほうに緑地広場というのがございまして、もともとあそこはイベント広場で考えておりますので、そこでミニ野外コンサートを1日1時間ずつぐらい何本かやるとか。あるいは、ちょうどサクランボの時期とかリンゴの時期とか、そういった節々のフルーツが出る時期は地元の市場関係者とか農家の団体から、あそこのちょうど入り口の回りに、何ていうんでしょうかね、スペースが駐車場の間にございまして、ああいったところに催事に、今回もキッチンカーとかいろんなものも置いてにぎわいづくり、あるいはいろんな試食できたり、さまざまなお祭り気分を縁日を楽しみたいような、そういう雰囲気をつくってありますが、そういったことなどをずっと積み上げてノウハウを蓄積したいと思いますし、その辺をやっていただける市民の団体とか、企業さんからも提案をいただいて、やっぱりあそこ行くと土日は特にお客さん多いわけですから、非日常で、議員おっしゃるように、いろんな楽しみ方ができる、そういうエリアにしていきたいと思っております。ぜひご提言をいただければと思います。

○**渋谷佐輔議長** 7番、渡部秀樹議員。

○**7番 渡部秀樹議員** ありがとうございます。

やはりこのハレとケってすごく大事で、お客様はハレを求めてくると、我々ここに住んでると、その来た方がハレを求めている感覚を失うときあるんですね。我々にとっては日常なわけですから、それを、日常ではなく非日常を求めてきたんだなという形で受け入れて、こっちは提案して、長井市はいいまちだよとわかっていたような、そういう施設だと思いますので、よろしくまたお願いします。

それに付随しまして、道の駅の中も若干都会的といいますか、すごくデパ地下のような、おしゃれで格好いいんですけども、落ちつきがあ

り過ぎて受け身になり過ぎてるような感じがします。この件について市長、今現在どう思っているか、お考えを。

○**渋谷佐輔議長** 質問は終わりました。

○**7番 渡部秀樹議員** じゃあ、最後お願いということで、もっと一歩前に出て、お客様とフレンドリーに接して、せっかく長井いいまちですから、いい雰囲気が伝わるような人と人との雰囲気づくりをしていただきたい思っておりますので、市長のほうからもその話をさせていただきたいと思えます。以上になります。ありがとうございました。  
(拍手)

## 散 会

○**渋谷佐輔議長** 本日はこれをもって散会いたします。

再開は明日午前10時といたします。  
ご協力ありがとうございました。

午後 3時00分 散会